

名古屋駅周辺まちづくり構想《骨子》（案）

平成 25 年 11 月 名古屋市

〈目次〉

■目的	・・・1
■背景・課題	・・・1
■目標とするまちの姿	・・・1
■構想の対象	・・・1
■基本方針	・・・2
■まちづくりの展開	・・・3
○取り組み内容（基本方針毎の総括図）	
○各取り組みの詳細※	
■主要プロジェクト図	・・・6
■構想の実現に向けて	
○官民の役割分担と推進体制※	
○スケジュール※	

※素案時に記載

- 目的
- リニア開業後のまちを見据えた概ね 15 年後を目標年次とする。
 - 特に、リニアが整備されることにより、まちづくりに必要とされることを中心に取りまとめる。
 - 多様な主体がまちづくりを進めるための共通目標となる基本方針と具体的な取り組みを明らかにする。

■背景・課題

○巨大都市圏の形成と名古屋大都市圏における役割

- ・東京と一体化した巨大都市圏を形成して日本の国際競争力を大きく向上させる好機である。
- ・ものづくりの圏域の中心としての役割や中部圏における観光拠点としての役割が一層高まる。

○大都市圏の玄関口としての駅前空間

- ・全国有数のターミナル駅にふさわしい風格や魅力に乏しい。
- ・人が集い、憩える空間が不足している。
- ・歩いて楽しい魅力ある歩行者空間になっていない。

○災害に対する安全性

- ・南海トラフ巨大地震などの大規模地震による被害の発生、帰宅困難者の名駅への集中が危惧されている。
- ・災害発生後、できるだけ早くビジネス機能等が回復することが必要である。
- ・大雨による浸水被害の発生がみられる。

○ターミナル駅としての機能

- ・ターミナル駅としての役割が一層高まるため、誰にもわかりやすい駅空間を形成する必要がある。
- ・速達性の高いリニアの開通、周辺民間開発に伴う乗降客の増加によりターミナルとしての利用が高まることや、高齢化の進展などに配慮した乗換利便性の向上が一層求められる。

○まちの魅力と連続性

- ・周辺には魅力ある地域資源を有する地域が存在している。
- ・歩行者が名駅通の地上・地下に集中している。
- ・栄や名古屋城等は、名古屋駅周辺にはない魅力がある。

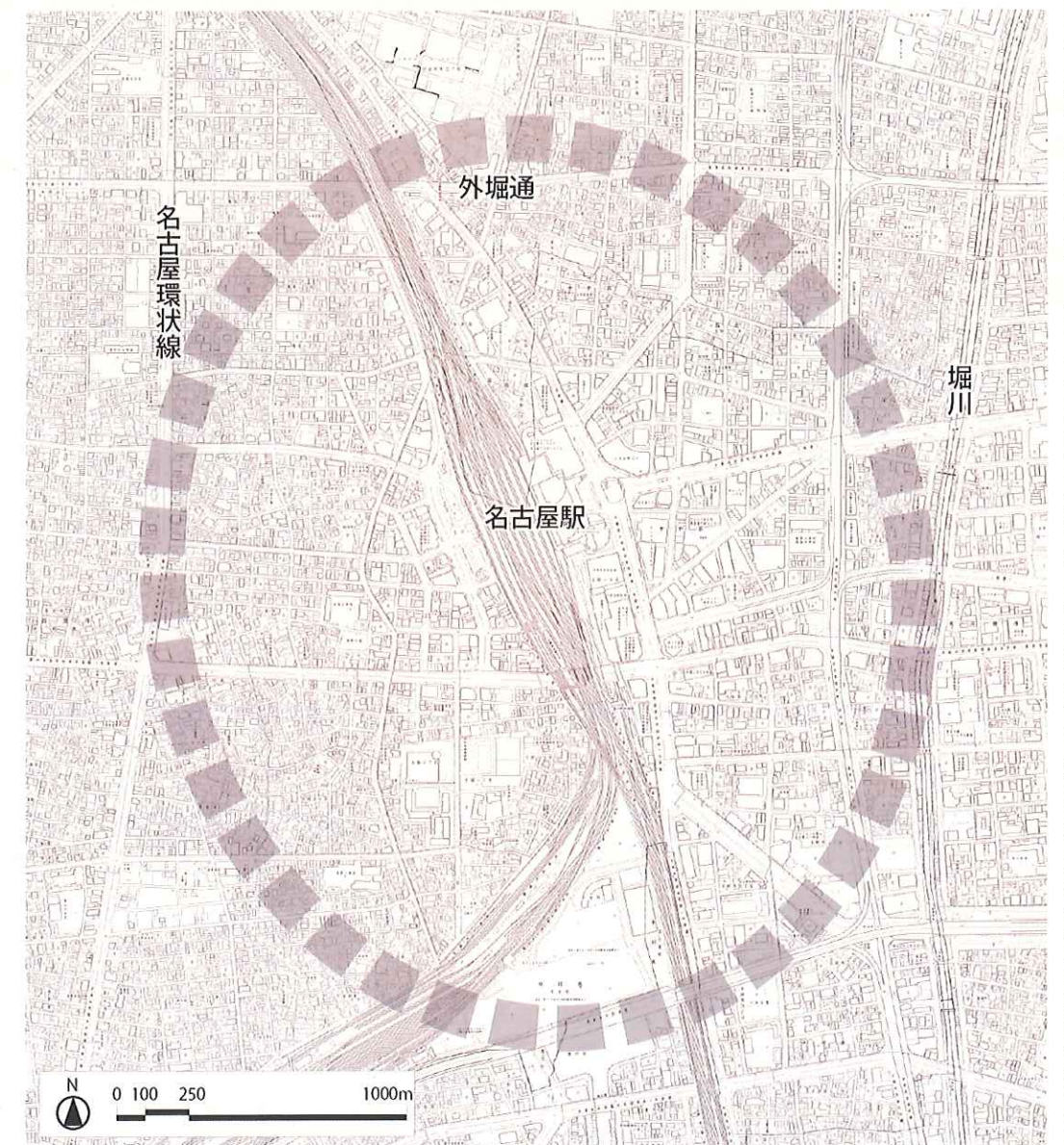
■目標とするまちの姿

○世界に冠たるスーパーターミナル拠点

高いレベルの機能性を備えたまちづくりを着実に進めるとともに、広く叡智を集め、世界の人々が集まり、魅了し続けるまちを目指す。

■構想の対象

- ・概ね破線のエリア



【基本方針1】

国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す

- (1) 国際的・広域的なビジネス拠点・交流拠点を形成する。
- (2) 玄関口にふさわしい風格と賑わいを感じさせる顔づくりを進める。
- (3) ビジネス拠点・交流拠点に必要な安全性を確保する。

〈 まちづくりの展開 〉

- ビジネス拠点性を高める都市機能を強化する。
- 交流を促進し、来訪者をもてなす機能を強化する。
- 広域道路ネットワークとのアクセス性改善を推進する。
- 駅・駅前広場を中心とした象徴的空間を形成する。
- リニア駅周辺街区の面的整備を推進する。
- 地域の防災性を向上する。

〈 主な取り組み 〉

- 民間再開発等により、ビジネス拠点・交流拠点にふさわしい都市機能を誘導するとともに圏域の顔づくりを進める。
- 駅前広場周辺について、名古屋を印象づける空間になるよう再整備する。

【基本方針2】

誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる

- (1) 初めての人や外国人にもわかりやすいターミナル駅を形成する。
- (2) リニアの速達性を活かすなど交通機関相互の乗換利便性を向上する。

〈 まちづくりの展開 〉

- 誰にでもわかりやすく利用しやすい空間を形成する。
- スムーズな乗換動線を確保する。
- 交通施設を効率的・効果的に配置する。

〈 主な取り組み 〉

- 視認性や移動性の高い乗換空間「（仮称）ターミナルスクエア」を形成する。
- 迂回・分散する乗換動線をできるだけ直線的につなぐとともに、主動線は、エレベーターやエスカレーターなどを配置し、スムーズな移動を確保する。
- 駅への自動車利用等のアクセス利便性を改善する。

【基本方針3】

都心における多彩な魅力を活かし、つないでいく

- (1) 城下町から超高層ビル群まで新旧織り交ぜた多様なまちの魅力を育て、活かす。
- (2) 回遊性を高め、人が主役の歩いて楽しい空間を形成する。

〈 まちづくりの展開 〉

- 地域資源を活かしたまちづくりを推進する。
- 魅力のある歩行者空間を拡充する。
- 地下の歩行者空間を充実する。
- 都心の他地区との連携を強化する。

〈 主な取り組み 〉

- 駅からまちへのつながりの空間として、歩行者空間を拡充する。
- 歩行者空間の拡充や民間再開発と連携して、地下街を改善する。

【基本方針4】リニア開通に向けて、行政と民間が一丸となって着実に構想を実現する

- (1) まちづくり構想を実現するため、行政がリーダーシップを発揮するとともに、行政と民間、民間相互など様々な主体が連携・協働してまちづくりを推進する。

【基本方針1】

国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す

- (1) 国際的・広域的なビジネス拠点・交流拠点を形成する。
- (2) 玄関口にふさわしい風格と賑わいを感じさせる顔づくりを進める。
- (3) ビジネス拠点・交流拠点に必要な安全性を確保する。

■ビジネス拠点性を高める都市機能を強化する

- 国内外企業の中核業務機能の受け皿等となる高品質なオフィス、多様なオフィスの立地促進
- カンファレンスなどビジネス交流を支える機能の立地促進
- ギャラリー、ショーケース等ものづくり技術を発信する場づくりの促進

■交流を促進し、来訪者をもてなす機能を強化する

- 来訪者等が、集い・憩い・滞留できる空間の整備
- 広域なエリアをカバーする多言語対応の観光案内機能の強化
- 広域集客力のある商業施設の立地促進
- 多様なニーズに応える宿泊施設の立地促進
- 大学、専門学校等の立地促進

■広域道路ネットワークとのアクセス性改善を推進する

- 駅と充実した高速道路ネットワークとのアクセス性の向上を図る基盤整備の推進

■駅・駅前広場を中心に象徴的空間を形成する

- 名駅通・桜通・椿町線沿いにおいて、風格・賑わいを感じられるよう、公共空間と沿道建物が一体となって魅力ある空間の形成
- 東西の駅前広場周辺の再整備

■リニア駅周辺街区の面的整備を推進する

- リニア駅整備とあわせ、名駅通・椿町線沿いにおける駅前の顔づくりや周辺街区を含むまちづくりの推進

■地域の防災性を向上する

- 帰宅困難者等の安全の確保を図るために必要な一時退避場所となる施設等の確保
- 地下街の改善
- 大規模雨水貯留施設等の整備
- 高い防災性・耐震性を備えた建築物の整備

〈凡例〉

都市再生緊急整備地域 特定都市再生緊急整備地域

0 50 150 500m

【基本方針2】

誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる

- (1) 初めての人や外国人にもわかりやすいターミナル駅を形成する。
- (2) リニアの速達性を活かすなど交通機関相互の乗換利便性を向上する。

魅力ある空間の形成と駅へのアクセス
利便性を確保した駅前広場周辺の再整備

リニア上部空間におけるターミナル機能強化や
まちづくりに資する有効活用の検討

わかりやすい乗換空間の形成

■スムーズな乗換動線を確保するとともに、交通施設を効率的・効果的に配置する

- リニアと都心方面、中部国際空港、観光地、周辺都市を結ぶ鉄道との迅速・円滑な乗換動線を強化
- 乗換主動線には、エレベーターやエスカレーターなどを配置し、スムーズな移動を確保
- バス・タクシーなどの乗降施設を適切に配置するとともに、東西・南北方向の歩行者ネットワークを強化
- 通過交通の迂回・分散を図りつつ、駅への自動車利用等のアクセス利便性を改善

東西ネットワークの強化

施設間をつなぐ南北ネットワークの強化

名古屋ターミナル駅

リニア上部空間におけるターミナル機能強化や
まちづくりに資する有効活用の検討

わかりやすい乗換空間の形成

魅力ある空間の形成と駅へのアクセス
利便性を確保した駅前広場周辺の再整備

南北ネットワークの強化

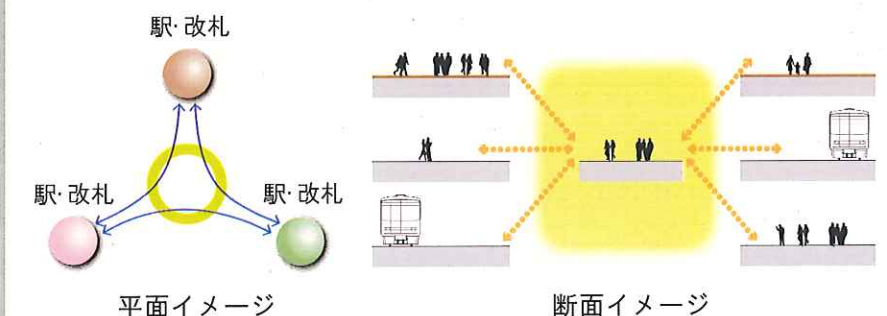
東西ネットワークの環境整備

鉄道駅、バスセンターの再整備等により利便性・快適性の高い空港アクセスと地域交通の拠点形成

■誰にでもわかりやすく利用しやすい空間を形成する

- 各鉄道間の主動線を明確化し、既存施設の配置によって迂回・分散される動線をできるだけ直線化
- 視認性や移動性が高い乗換空間「(仮称)ターミナルスクエア」を形成
- 乗換を支える案内サインの充実

(仮称)ターミナルスクエア(イメージ図)



※ターミナルスクエアとは…複数の交通機関の乗換が一目で分かる空間であり、歩行者動線の円滑化や滞留、案内情報サービス等の提供を行う広場。

【基本方針3】都心における多彩な魅力を活かし、つないでいく

- (1) 城下町から超高層ビル群まで新旧織り交ぜた多様なまちの魅力を育て、活かす。
- (2) 回遊性を高め、人が主役の歩いて楽しい空間を形成する。

■地域資源を活かしたまちづくりを推進する

- 多彩な地域資源を活かしたまちの魅力の向上
- 新たな地域資源を発見・創造し育てることによる魅力の強化
- 地域まちづくりや民間再開発を進める地元組織の活動のサポート

■魅力ある歩行者空間を拡充する

- 名駅通は、駅からまちへのつなぎの空間や、駅前の顔として魅力ある空間になるよう、歩行者空間の拡充
- 広小路通は、栄地区と結ぶ連携軸として沿道と一体となった賑わい空間の形成
- 名駅通・広小路通以外の幹線道路等は、名古屋駅と地域資源をもつまち、魅力的なまちとまちをつなぐ歩行者ネットワークの形成
- 沿道の建物は、道路との境界部分のしつらえの工夫、広場、緑の確保などにより、歩行者が楽しく快適に通行し滞留できる空間の形成

■地下の歩行者空間を充実する

- 地上の歩行者空間の拡充や民間再開発と連携し、地下の歩行者空間を拡張、広場空間や地上と地下の一体性を確保



■都心の他地区との連携を強化する

- 栄地区や名城地区との連携強化と都心部における回遊性や賑わいを向上するため、LRT など新たな交通手段の導入の検討

・民間再開発等によるビジネス拠点・交流拠点の形成

・東西ネットワークの強化

・リニア駅周辺街区の面的整備の推進

博多駅駅前広場

・駅へのアクセス利便性を確保した駅前広場周辺の再整備
・公共空間と沿道建物が一体となって象徴的空間を形成

・民間再開発により、ビジネス拠点・交流拠点にふさわしい都市機能の導入と地域交通拠点の形成
・地下街の改善
・施設間をつなぐ南北ネットワークの強化



クリスタ長堀

0 25 100 200m

〈凡例〉

近年の主な民間再開発等 完了 事業中

名古屋ルーセントタワー

(仮称) 名駅一丁目1番北・南地区
名古屋市ターミナル駅

(仮称) 名駅三丁目27番地区

ウインクあいち

名古屋クロスコードタワー

ミッドランドスクエア (仮称) 名駅四丁目10番地区

モード学園
スパイラルタワーズ

名古屋駅周辺
地下公共空間整備

(仮称) グローバルゲート

笹島線

・わかりやすい乗換空間の形成

- (仮称) ターミナルスクエアを形成する。
- 迂回・分散する乗換動線をできるだけ直線的につなぐとともに、主動線は、エレベーターやエスカレーターなどを配置し、スムーズな移動を確保。



金山総合駅

・歩行者空間の拡充
・駅へのアクセス利便性を改善

・高速道路ネットワークとの
アクセス性向上の検討